

要望活動

< 要望日 >

2008年

11月13日

西九州新幹線ルート整備へ早期実現を要望

2008（平成20）年3月26日に武雄温泉～諫早間の工事実施計画が認可された一方、諫早～長崎間は着工認可が得られていませんでした。これを受け沿線5市は、国や関係国会議員、関係省庁に対し、次の3つを要望してきました。

- ①武雄温泉～諫早間の整備推進と諫早～長崎間の早期認可・着工
- ②新鳥栖～武雄温泉間の安全対策
- ③フリーゲージトレインの技術開発促進と早期目標達成

2009年

11月20日



山根民主党副幹事長、谷口事務次官
岩永浩美議員、今村雅弘議員
大久保潔重県議会議員

2010年

6月9日



財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土交通省

11月18日



総務、財務、国土交通省各大臣及び政務三役、民主党、自民党、公明党
関係国会議員、長崎県及び佐賀県選出国会議員

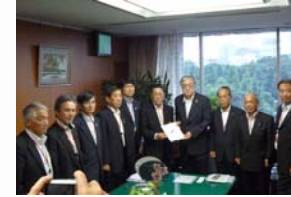


2011年

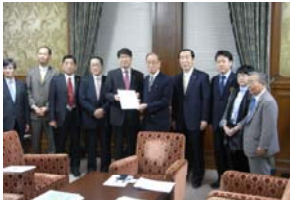
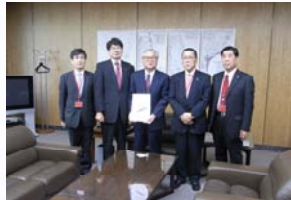
8月19日



懇親会の様子



11月22日



国土交通省、総務省
長崎県、佐賀県選出国會議員
民主党、自民党、公明党関係国会議員

2012年6月29日
武雄温泉～長崎間の整備認可

2013年

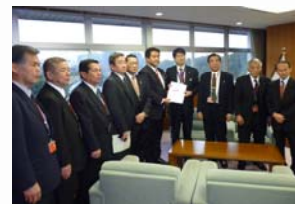
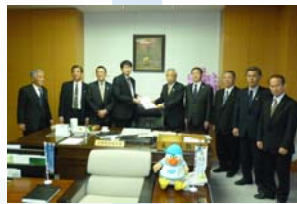
2月12日



武雄温泉—長崎間整備を推進 フリーゲージ早期実用化も要望

武雄温泉～長崎間の整備認可を受け、新幹線開業効果が最大限に発揮されるよう開業に向けた着実な整備とフリーゲージトレインの早期実用化、沿線各市が取り組むまちづくりに対しての支援を求めました。

8月28日



11月25日

財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土交通省
長崎県、佐賀県 選出国會議員



2014年

7月31日

11月17日

2015年

7月30日

2016年

11月15日

2017年

11月7日

西九州ルートへの導入は 事実上困難な状況に…

フリーゲージトレイン軌間可変電車の耐久性など技術的課題の解決が進まず開発が難航しました。さらに維持管理コストが非常に高くなるとの試算も示され、西九州ルートへの導入は断念せざるを得ない状況となりました。

フリーゲージ断念受け 西九州ルート全線フル規格を要望

フリーゲージトレインの導入が困難となった状況を受け、「広域交流人口の拡大」という本来の新幹線整備の効果を最大限に発揮できる**全線フル規格**による西九州ルートの整備と新幹線開業に向けた公共事業への支援を要望しました。



意見交換会



福岡参議院議員（自民党）



金子参議院議員（自民党）



西岡衆議院議員（希望の党）



総務省 野田総務大臣
(代理：小倉総務大臣政務官)



自民党本部 二階自民党幹事長
(代理：萩生田自民党幹事長代行)



国土交通省 藤井鉄道局



国土交通省 寺田官房審議官



2018年

4月10日



古賀雄一郎参議院議員（自民党）



大串博志衆議院議員（希望の党）



古川康衆議院議員（自民党）
与党PT委員、PT検討委員会委員



江田康幸衆議院議員（公明党）
与党PT委員、検討委員会委員長代理

7月11日

2019年

5月28日



古賀雄一郎参議院議員（自民党）



総務省 林崎自治財政局長



国土交通省 寺田官房審議官



河野義博参議院議員（公明党）

2022年

9月23日

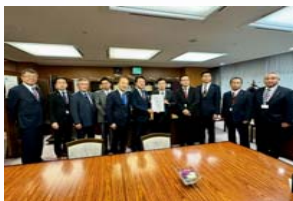
西九州新幹線開業

2023年

11月15日



国土交通省 村田鉄道局長



国土交通省 水嶋審議官

未整備区間解決へ 西九州ルート全線フル規格求め要望

2022年に武雄温泉～長崎間が開業しましたが、**新鳥栖～武雄温泉間**については、いまだ整備方針が決定していないことを受け、九州新幹線西九州ルート**を全線フル規格**で整備することを目指し、沿線5市の自治体代表である市長および市民の代表である市議会議長が、**国や関係国会議員、関係省庁**に対して要望活動を継続して行っています。

地域の強い期待と熱意を伝えるとともに、
早期の**フル規格整備の実現**を求めています。



2024年

7月4日・5日



国土交通省 齋藤大臣



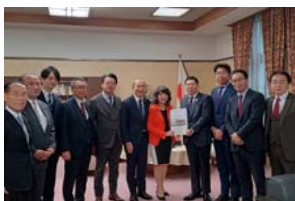
国土交通省 水嶋審議官

2025年

12月22日・23日



国土交通省
加藤国土交通大臣政務官



財務省 片山財務大臣

